

ご挨拶

トライボロジー会議 2018 秋伊勢に ようこそ



2018年秋のトライボロジー会議を東海地区の伊勢で開催し、皆様をこの地にお迎えできることを大変喜んでおります。

東海地区での開催は、2008年秋に名古屋で開催されて以来10年ぶりです。従来、東海地区での開催では、名古屋市内の開催でしたが、今回は世界的にも有名な「伊勢神宮」のお膝元である伊勢市で開催する事となりました。しかし、伊勢市は観光都市であり、大きな学会の講演会開催に適した会場はございません。そのため、今回は伊勢市で最も大きな文化振興・交流の場である「伊勢市観光文化会館」の隅から隅まで利用し、大ホール、展示室、舞台、大会議室等を、複数の講演室とし何とか大会開催可能といたしました。会場は手狭でご不便をかける事もあるかと思いますが、何卒実行委員の開催実現のための熱い思いに免じてご容赦のことよろしく願いいたします。

会議のスローガンは、「古の 時を感じて トライボの 未来がミエる この伊勢で」で、実行委員会内で公募し、古林副実行委員長長の案を採択しました。参加者には伊勢神宮を参拝いただき、古を感じながら、最先端のトライボロジーを議論いただければ幸いです。

今回の会議では、講演数は一般講演、シンポジウム併せて約200件で、これは地方で開催された従来会議に比べて少なめでございます。会議の内容は、一般講演、4件のシンポジウムの他に、イブニングフォーラム、特別講演会、企業展示そしてランチョンセミナーを企画し、盛り沢山でございます。

1日目のイブニングフォーラムでは、「御木本幸吉～真珠発明とその事業」として、日本の十大発明家の一人で事業家でもある御木本幸吉氏をミキモト真珠島真珠博物館の松月館長にご紹介いただきます。また、「地域経済に新しいチカラを」として、伊勢夫婦岩パラダイスの小山取締役から、地域経済のV字回復の成功事例を水族館事業を中心にご紹介いただきます。その際、三重県の特徴あるお弁当をお楽しみいただきます。

2日目の特別講演会では、「コンピューターが小説を書く日」として、人工知能AIの過去と現在と未来について、本分野の第1人者である名古屋大学の佐藤教授にわかりやすくご講演いただきます。また、「伊勢神宮～森と祭りの2000年～」として、皇學館大学の櫻井教授から伊勢神宮が長らく持続して日本において重要な位置を占めてきた特殊性をご講演いただきます。

特別講演会の後、貸し切りバスに乗りまして、伊勢市二見町の伊勢夫婦岩ふれあい水族館 伊勢シーパラダイスに移動し、水族館での見学・体験の後、懇親会を開催いたします。伊勢特有の食べ物、飲み物をご提供する予定です。どうぞお楽しみいただけますようお願いいたします。

最後になりましたが、本会議の開催にあたり、企業展示、広告掲載等にご協力いただいた各企業、ご後援を頂戴した三重県、伊勢市、伊勢志摩観光コンベンション機構、および参加者をはじめ多大なご支援を下さいました皆様に心より感謝申し上げます。

実行委員長 梅原徳次